



ぼうさいの丘 (撮影 阿部会員)

令和2年 12月号 Vol.200
(2020年)

発行：令和2年 12月 12日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊

《秋季観光客入込み調査》

行事区分：行事支援

日 時：11月8日(日) 9:00~16:00

場 所：市内拠点5箇所

参加者：各箇所 会員 2名(計10名)

2020年 主要観光地入込み観光客数 (人)

調査場所	2月23日	6月21日	8月2日	11月8日	合計
飯山温泉	986	839	719	1,546	4,090
七沢温泉	1,294	874	803	1,086	4,057
広沢寺温泉	458	408	720	495	2,081
七沢森林公園	1,531	687	1,197	1,321	4,736
相模川三川合流	1,123	1,623	1,361	2,141	6,248
合計	5,392	4,431	4,800	6,589	21,212

厚木市観光協会まとめ

相模川三川合流地点(青年広場)

河川敷は寒いのではないかと、普段より厚着をして行ったのですが、時々雲が日差しを遮るものの、立冬を過ぎたとは思えないほど暖かく、スポーツを行うにも河原で遊ぶにも、そして入込み調査を行うにも「絶好の小春日和」でした。

当日は、少年野球の大会なのか、私が到着した時はすでに、お揃いのユニフォームを着た小さな野球選手達が、チームごとにあちらこちらで準備運動を行っていました。河原でも、すでにバーベキューの準備をしているグループもあり、入込み調査の前にかかなりの人が調査地点に入ってしまったようでした。



三川合流の調査地点は、一般道から河川敷に降りる道の途中と言うこともあり、車の往来は多いのですが人通りはほとんどなく、アンケートは多目的広場やグラウンドの入込み調査をするついでに河川敷に降り、ラジコン飛行機を飛ばしている人たちやバーベキューを楽しんでいるご家族にお願いしました。

アンケートには皆さん快く答えて下さいましたし、「あゆコロちゃん」のクリアファイルは大変好評で、渡すたびに笑顔のお返しを頂きました。

三川合流は、七沢観光案内所から遠いので、3時半の終了と同時に集計し、急いで片づけを行い案内所に向かいましたが、到着時点で4時を少し回っておりました。

12月からは案内所が4時で閉まるそうなので、2月の三川合流での入込み調査は、報告用紙等の返却を翌日以降にされた方が良いかもしれません。

(根岸 記)

七沢温泉（盛楽苑駐車場）

晴天で風も無く快適な調査ができました。いつもは風のためパラソルを畳むことが多かったのですが、今回は最後まで開いたまま保つことができました。パラソルは調査ポイントの目印として重要な役割を果たしていると思います。



第二駐車場からは右に見城山、左に日向山がきれいに見えていました。

大山頂上から見晴台～日向薬師を経て七沢温泉に下りてきたハイカーが何組かいました。午前中の方は随分朝早くから大山に登ったのでしょう。長い道を歩いてきてもまだ軽快な足取りでした。私は大山から不動尻～広沢寺への下山ルートは何度か経験があるのですが、日向薬師～七沢温泉へ下りてくるルートは経験がないので、是非いつかチャレンジしたいと思いました。

私達の目の前を、上り下り合わせて523台と多くの自動車が通過し、他県ナンバーも多く見かけました。自動車の方で温泉入浴したいがどこにあるかという問い合わせが多かったです。

現地ですら知ったのですが盛楽苑は最近になって、日帰り入浴や昼食＋入浴の営業はやめて宿泊のみの営業になったそうです。配布用旅館案内資料を見ると、確かに赤の斜線で修正されていました。

コロナ禍のため厚木市内に来られる観光客は警戒しながら、マスクをつけての行動になっていますが早く従来通りの、のびのびとした楽しい観光でありたいものです。

(澤田 記)

七沢森林公園（出会いの広場）

前日が雨天日で、調査開始時間になっても空はどんよりと曇り、人出もあまりありませんでした。時間が経過すると空は徐々に晴れて、雲1つ無い快晴になりました。

11時を過ぎると公園内のバーベキュー広場やアスレチック広場に向かう小さな子供連れの親子が三々五々と入園してきました。

ここは郊外の広い公園です。新形コロナウイルス禍で市街地での三密を避けて家族で行楽するには最適の場所です。

この状況の下では賑わっていると思いましたが、公園管理事務所の話ではバーベキューの予約は前の日曜日（11月1日）の約半数と言う話でした。



調査地点の「出会いの広場」は団体の集合場所に使用される事が多いですが、この日は地元厚木の森林セラピーの僅か 1 グループで 10 人位でした。

やはり時節柄どこの団体も三密を避けて自粛している様です。

(寺田 記)

飯山温泉（中飯山自治会館）

前会長とペアーでの調査でした。

快晴に恵まれ、お客さんの出足は早そうな気配でのスタートでした。

調査場所となっている中飯山自治会館で野菜の即売会が開店しているの野菜を求めに立ち寄る人が多い事も影響しているのかも？

またザル菊の畑も丁度見頃のため、鑑賞客も目立っていました。リュックを背負った歩行者は約 100 人と、例年より少ない感じでしたが合計人数はほぼ例年並みのような気がしました。

注目客を紹介すると、チェコスロバキア人の親子 4 人グループの訪問者がありました、東京在住で今回は 2 回目の訪問ですが、厚木の山が大好きと言っていました。

また、ボリビアからの二人のご婦人は厚木在住で、ザル菊を見に来たとの事でその素晴らしさに感動していました。そして調査現場写真にも快く対応してくれました。

前会長の外人さん対応には関心！英語を巧みに使い、見事な接客には脱帽しました。



(山下武敏 記)

広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

晴天の休日とあって紅葉を待ち焦がれている皆さんの出足は早かったです。

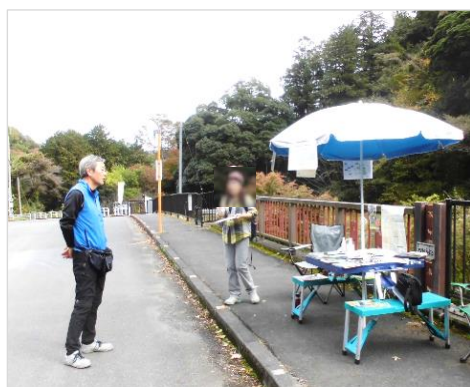
朝 8 時半頃には無料駐車場は残すところ 3~4 台でした。それでもお見えになる車は後を絶たないためどうなる事かと心配していましたが、「案ずるより産むがやすし」のことわざ通り 10 時には帰る車も出始めたため混雑していながらも駐車できない車はなかったようです。

三密を避けるため、公共機関を利用せず自家用車で来られた方が多かったですでしょう。

10 時に帰ろうとしている方にお聞きすると鐘ヶ嶽に登ってきたとのこと。朝は 6 時に広沢寺を出発し鐘ヶ嶽コースを一周してこられたそうです。広沢寺温泉にはなめり岩のクライマーだけではなく、鐘ヶ嶽や見城山へのハイキングコースを楽しむ方も集まっているようです。

お子様連れの家族が車でいらっしやいました。こちらは紅葉見物を兼ねてマス釣りがお目当てとか。通り掛かった若い女性のグループは近くのラーメン店がお目当てで、待ち時間があるので広沢寺の紅葉を楽しむつもりと教えてくださいました。

お昼過ぎにお話を伺った中年の男性は大山から唐沢峠を經由してこられたそうです。「これから温泉に入って汗を流します」と笑顔でお話していただきましたが健脚です。東京からこら



れたご夫婦は温泉が目当てという事でした。慣れた様子で宿の駐車場に車を止めて露天風呂に向かわれました。

とはいっても、お見えになっている方は常連さんばかりでもないようです。用意していた七沢の地図パンフレットは午前中で品切れとなり急いで追加しなければいけませんでした。

温泉でバスを待っていらしゃった女性は野生動物が大好きなようです。これまでに見かけた野鳥のお話や丹沢に生きるクマやサルのお話などをしてくださいました。

お見えになった皆さんにお話をお聞きしていると入込み調査の時間があっという間に過ぎてしまった一日でした。

(阿部 記)

《小鮎川飯山モミジと清川村の秋》

行事区分：会員研修（ハイキング）

日 時：11月20日（金）9:30～15:30

場 所：小鮎川・飯山白山・清川村

参加者：会員 7名

不安定な天気予報の中、9時25分千頭バス停に集合。まずは検温を実施して全員平熱である事を確認。小鮎川に沿って歩き、前方の乱れた雲の間に予想外の青空が。

東丹沢の山並みに丹沢三峰本間ノ頭を見つけ感動した人も。飯山に向かう途中で大根を収穫した農家の女性と大根談義。飯山のもみじの森の紅葉はまだ緑が残る中にモミジの赤やイチョウの黄色がとても綺麗でした。



落ち葉に埋もれた男坂から見慣れた景色の白山展望台へ。男坂もモミジの森も初めての人にはとても新鮮だった様子。

御門橋分岐からの下りは滑りやすく、緊張感を楽しみながら清川村へ。清川村を囲む山肌が秋色に煙って静かな落ち着きを見せていました。

不思議な幹の皇帝ダリヤや天使のラッパと言われるエンジェルランペットも彩りを加えていました。

清川村では狸にそっくりな猫、育ちの良さそうな山羊の親子、透明な流れが色づいた落ち葉を運ぶ美しい小鮎川のカワセミとの出会いもあり、山に囲まれ清流が通る静かな山里を歩き、素晴らしい1日となりました。

*本報告は、参加した会員の皆さんの感想をもとにまとめました。なかなか素晴らしいハイキングでした。

(山下潔 記)

《道標巡りウォーキング》

行事区分：会員研修（歴史探訪）

日 時：11月24日（火）8:50～10:40

場 所：南毛利地区

参加者：会員 4名



今年はコロナ禍で観ボラの活動もままならない日が続いていますが、11月24日に春さき検討した道標モデル6コースのうち、厚木高校（尼の泣き坂）から南毛利（観音坂）～防災の丘公園（休憩）～夢末市（亀の子橋）までの道標（7つ）を有志でウォーキングしてきました。

片岸交差点手前89番（さるげいと）は大山道のひとつで「さるが谷戸」から転じた地名の由。手前が道路で交通安全には注意が必要です。

次に温水の開けた田んぼ道を歩き、恩曾川を渡って進むと右手に「専念寺」があり、山号も「温水山」で、山門手前右下に「温水の地名由来の池？」というのがあります。

次の道標は82番（巡見道）で、さらに道なりに進むと大山の山並みがきれいに眺望できます。南毛利学習センター敷地内に81番（南毛利村役場跡）ですが、道路から確認しづらいため道路沿いに旧役場の写真看板等案内表示があるといいのではないかと思います。



巡見道：「江戸時代、飢餓や大被害の際に視察のため巡見使が通行した道」

観音坂：「大山に至る旧道で坂上の長谷観音から観音坂と呼ばれた由」「観音像は鎌倉の長谷寺と同じ木で運慶が彫刻したとのこと」

次が折り返しの77番（観音坂）ですが、道路の横断には十分な注意が必要です。見落としがちですが道路左下に通学路のとてもきれいなトンネルがあります。是非使ってみてください。壁画もきれいでした！



いよいよ6基目の道標88番（みたど）ですが、解説文によれば、阿弥陀堂があり、「あみだどう」がいつしか「みたど」と呼ぶようになった由。

あ	み	だ	ど	う	→	み	た	ど
上の「あ」と下の「う」ととると								
ガイド説明に使えるかも？								



夢末市のそば、橋の脇にあり「鶴は千年、亀は万年」の言葉から「亀の子橋」と呼ばれていたよし。

防災の丘公園休憩所は天気がいい日はハウス手前の芝が気持ちいい！（トイレ休憩）お弁当タイムの場所に最適！

8:50にスタートし亀の子橋には10:40に到着しました。道標だけを巡るのは少々退屈な気がします。途中で史跡や景観や何らかのアピールポイントがあると楽しいウォーキングとして企画ガイドとして計画できるのではないかと思います。（鈴木 記）

最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
11月 8日	市 内 5 個 所	秋季観光客入込み調査	会 員 10 名
11月 14日	アミューあつぎ	定 例 会・学 習 会	会 員 18 名
11月 14日	アミューあつぎ	臨 時 役 員 会	会 員 9 名
11月 19日	厚 木 市 役 所	厚木市観光振興推進委員会	会 員 1 名
11月 20日	小鮎川・飯山白山・清川村	会 員 研 修	会 員 7 名
12月 5日	アミューあつぎ	役 員 会	会 員 9 名
12月 7日	南 公 民 館	編 集 会 議	会 員 3 名

令和2年12月・令和3年1月 行事予定

	日 時	行 事	場 所	内 容	申 込 先
12 月	10日(木) (本研修は延期)	神奈川ガイド協議 会 合同研修会	県民活動サポ ートセンター	延期後の日程は未定	
	12日(土) 10:00~13:00	定例会・学習会	保健福祉 センター	勉強会 12:00 開始	サークルスクエア
1 月	9日(土) 09:00~12:00	役 員 会	保健福祉 センター	—————	サークルスクエア
	16日(土) 10:00~13:00	定例会・学習会	保健福祉 センター	—————	サークルスクエア

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。
提出期限は定例会の1週間前（編集会議と印刷のため）

編 集 後 記

今年も今月で終わりとなります。コロナ騒動で始まり、収束までもう少し我慢の一年となってしまいました。来年こそはと思う事もたくさんあるのではないかと思います。

あんなことをしたい、こんなことをしてみたいと思ったことを生かして来年につなげることができると、今年はいままでを振り返るための時間を作ることができた貴重な一年であったという事が出来そうです。

巻頭の写真は「ぼうさいの丘公園」のイルミネーションです。12月7日は二十四節気の「大雪（たいせつ）」。いよいよ本格的な雪の季節にサンタクロースもちょっと寒そうです。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 前澤 宣子